

独立行政法人

国立国際医療研究センター病院

National Center for Global Health and Medicine

<http://www.ncgm.go.jp/>

発行 連携医療ネット

住所 東京都新宿区戸山1-21-1

代表 TEL 03-3202-7181

FAX 03-3207-1038

地域医療連携室

直通 TEL 03-3202-8066

FAX 03-3202-1003



連携医療NEWS

Vol.26 5月号

内容

- ・新外来棟オープン・・・・・・・・・・・・・1
- ・新任あいさつ・・・・・・・・・・・・・2
旬の味覚
- ・小児科・・・・・・・・・・・・・3
看護通信
- ・連携登録医のご紹介・・・・・・・・・・・・・4

新 外 来 棟 オ ー プ ン

平成26年5月7日新外来棟（中央棟低層部分）がオープンいたしました。新外来棟は中央棟高層部分の北側に位置し、高層部分同様免震構造を備えた地上5階、地下2階建ての建物です。大久保通りから正面玄関を通過して奥に進むと広い総合受付に続き、地下1階から地上3階までにわたる広いアトリウム（吹き抜け）があります。今夏には窓外に緑豊かな庭園も完成予定です。壁や床も明るく清潔感あふれる素材を使用し、全体的に光をふんだんに取り入れた大変明るい構造になっております。従来は病院というと暗いイメージが先行していましたが、当院はこれをすべて払拭し、来院される方々のご気分が少しでも和らぐようなアメニティとホスピタリティを重視いたしました。



竣工記念式典来賓挨拶



テープカット



診察室（小児科）



エスカレーター



受付カウンター



低層階エレベーター

新任 あいさつ

副院長

簗 和田 滋



平成26年4月1日付で副院長を拝命いたしました。

私は昭和51年に金沢大学を卒業して東大の泌尿器科学教室に入局し、以来泌尿器科領域の手術的治療や副腎、性腺系の臨床を中心として診療を行ってきました。

平成13年からは当院の泌尿器科で診療をさせて頂いております。このたび診療、医療安全、医療研修等担当の副院長を仰せつかり、医療安全に対する高い認識の醸成、若い医療スタッフの健全な育成などを推進して行きたいと思っております。また、病院医療連携、現在進行中の新外来棟への移転も円滑に進めて行きたいと考えております。

中央棟の新外来棟部分が完成し、5月3日におよそ半分の10診療科が旧外来棟から移転し、受付、売店、食堂、検査部門など大方の外来機能は今回ですっきりとしました。患者さんには長い間複雑な導線のため、売店、食堂、検査など大変なご不便をおかけいたしました。

エスカレーターや低層階エレベーターなども設置されて、アメニティ、利便性が著しく向上いたしました。

移転した診療科では診察室も増え、診察機能も充実しましたので予約診療の充実、待ち時間の改善等が進むものと考えております。

最後の移転：消化器科、外科、糖尿・内分泌、腎内、血内、泌尿器科の6科は平成27年3月に移転し、移転は一区切りいたします。

病診連携に関してはスタッフが大幅変更になりましたので、主に以下のメンバーを中心として担当させていただきます。

小職、杉山診療運営管理部門長、徳原医療連携室長、森本医事専門職、加藤退院調整師長、芳田MSW。

今回医療連携室も新装、機能性が向上しました。スタッフ間の連携も取りやすくなりましたので、一層円滑な運営に努めて行きたいと存じます。

診療報酬の改定、特定機能病院等の関係で病診連携の強化、特に逆紹介率の増加が義務づけられました。急性期を乗り切って区切りが付いた患者さん、軽症の診断が確定してクリニック等で治療可能な患者さんなど、積極的に連携医の先生方に御戻し、あるいはお引き受けをお願いしたいと考えております。

一層の丁寧な連携をはかって進めたいと思っておりますので今後とも宜しくお願い申し上げます。

旬の味覚 豆について

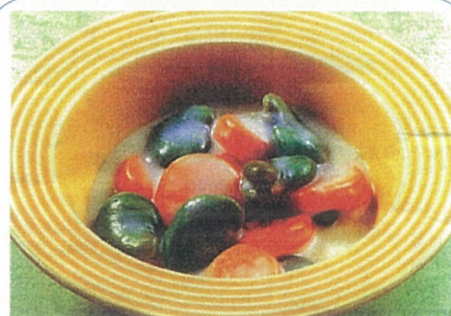
管理栄養士 栗山 綾乃



そら豆は良質のたんぱく質の他に、ビタミン、ミネラルをバランスよく含んでいます。なかでも疲労回復効果のあるビタミンB₁や、粘膜を保護したり、動脈硬化を予防したりするビタミンB₂などのビタミンB群が豊富です。ミネラルは、体内の余分な塩分を排出する働きがあるカリウム、貧血を防止する鉄を多く含みます。腸内環境を整える食物繊維も豊富に含まれています。

生のそら豆は鮮度が落ちやすいので、調理する直前まで豆をさやの中に入れておくと良いでしょう。

さやが空に向かって伸びることから、「そら豆」という名前がつけました。



そら豆とにんじんのクリーム和え

材料(1人分)(g)

そら豆	30
にんじん	40
バター	2
塩	0.3
水	50 ml
バター	5
小麦粉	5
牛乳	100
塩	0.3

作り方

- ①にんじんは5mm厚さの輪切りにする。ていねいにするときは面取りをする。
- ②鍋に①、②のバター、塩、ひたひたの水を入れて紙ふたをし、火にかけて煮立ったら弱火にして数らかくなるまで15~20分煮る。火を強めて汁気をとばす。
- ③そら豆はゆでて薄皮を取る。
- ④鍋でクリームソースを作る。鍋にバターを溶かし、小麦粉を焦がさないように炒め、温めた牛乳を加え、手早く泡立て器で混ぜてなめらかにする。煮立ったら火を弱め、とろりとするまで煮、塩で調味する。
- ⑤④に②と③を入れてひと煮立ちさせる。

小児疾患に、24時間対応いたします小児科

第二小児科医長

佐藤 典子



当センター小児科は、いつも近隣の先生方に大変お世話になっております。私どもの施設では、小児の一般的な急性疾患から、多岐にわたる慢性疾患まで広く（外来・入院ともに）診療対応することを目指しております。気管支炎、肺炎、胃腸炎などの一般的な急性疾患、アレルギーやアナフィラキシー、川崎病、肝炎、急性腎炎やネフローゼ、インフルエンザ脳症など、時にIntensive careを必要とする疾患、さらには白血病やリンパ腫などの血液腫瘍性疾患、NICUでの重症新生児の管理など、小児に起こるあらゆる疾患に対応すべく、日々研鑽を積んでおります。月曜から金曜まで、午前中に一般外来、午後には専門外来を開設し、急性疾患、乳児健診、慢性疾患の診療を行ないつつ、24時間小児救急に対応できる体制を整えて、地域医療に貢献することを目指しています。

最近特に取り扱うことの多い疾患としましては、川崎病の重症例・再燃例、けいれん重積や脳炎・脳症、血液疾患などで、こうした疾患に関しましてはいつでも近隣の先生方のニーズにお応えできるようにこころ

がけておりますので、ぜひ患者さんのご紹介をお願いいたします。当院の小児病棟は新入院棟開設時から陰圧室・陽圧室を備え、感染症、免疫不全患児や骨髄移植にも十分対応できるようになっております。お子様だけの「お預かり入院」、ご家族の付添に関してもなるべくご要望にお応えするように努力いたします。

2014年5月からは、待望の新小児科外来もオープンします。いままで古い建物でご不便をおかけしておりましたが、今度はきれいで明るい外来で患者様を診察できるようになります。引き続き、救急外来や新生児搬送など、若手スタッフからベテランまでタッグを組んでお待ちしております。

常に、患者さんのご紹介をお断りすることなくお受けできるよう、今後もさらに充実した体制を整えて行きたいと思っております。なにとぞよろしくお願いいたします。



看護通信

がん専門看護師

千葉 みゆき



2013年12月にがん看護専門看護師になりました「千葉」と申します。

現在は呼吸器内科・外科病棟で勤務しております。日々患者・家族に寄り添うことをモットーに、がん告知から看取りまでのあらゆる段階において、様々な苦痛の緩和と治療の意思決定支援に努めています。そして病気や治療とうまく付き合いながら、その人らしい生活スタイルを送れるようにと願っております。まだ駆け出しの専門看護師で、専門的な活動・役割については右も左もわからないというのが本音ですが、地域医療機関の皆様と連携してがん患者・家族を地域ぐるみで支える仕組みを作っていきたいと考えております。地域のリソースのひとつとして活用していただければとても嬉しく思います。ご教授のほど、よろしくお願いいたします。

連携登録医のご紹介

医療法人社団 つるかめ会

新宿海上ビル診療所

伊藤 秀幸 先生



みなさまこんにちは、私は昨春まで国際医療研究センター呼吸器外科に勤務し、現在は当診療所にて呼吸器科を中心に働いています。連携医の先生がたからは患者さまの御紹介等で以前大変お世話になりました。また医療センターの諸先生には、現在当院からの紹介患者を多数診療いただき、感謝いたしております。

新宿駅南口徒歩5分、甲州街道に面した至便な地、新宿東京海上日動ビル3、4階に海上ビル診療所はあります。

1988年3月に開設され、「あたりまえの医療をあたりまえに」をモットーに今年で25周年を迎えます。健診と外来を柱として、常勤医7人非常勤医およそ120人の大所帯は、およそ「診療所」という言葉とは大きく趣を異にします。上部下部内視鏡は年間12000件を超え、CT、超音波は毎日フル稼働しています。各種内科から漢方外来、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻科等、各科に専門医をそろえ、外来機能に関しては病院に匹敵するようなレベルを目指しています。

国際医療センターで急性期医療が終了した患者さまの逆紹介先として、当院は検査機器、スタッフとも充実しておりますので、お役に立てることがあろうかと思えます。また救急、専門検査、手術を要するような患者さまの紹介元として、今まで以上に密な病診連携をお願いできればと思っています。今後とも宜しくお願い申し上げます。

診療科	内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・外科・整形外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・皮膚科・膠原病科・血液内科・漢方科・婦人科・乳腺外科・禁煙外来・睡眠時呼吸外来・もの忘れ外来
住所	渋谷区代々木2-11-15 新宿東京海上日動ビル 3・4F
電話	03-3299-0077
FAX	03-3299-4985
ホームページ	http://www.tsurukamekai.jp
受付時間	月曜日～金曜日 8:30～12:15 13:45～17:15 土曜日 8:30～12:15
休診日	日曜日・祝日
交通	JR新宿駅より徒歩5分



お詫び：過日の造影剤誤使用の医療事故につきましてはお詫び申し上げます。再発防止と信頼回復に向けて病院をあげて努力してまいりたいと存じます。

外来診療時間 8:30～17:15

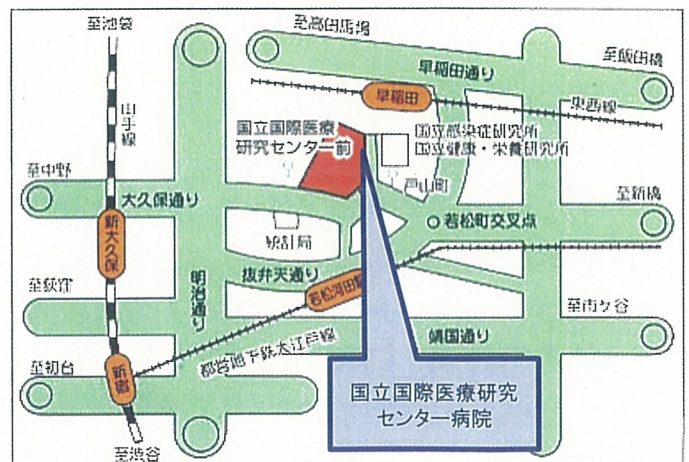
- ・初診受付 紹介状が無い場合 8:30～11:00
- 紹介状が有る場合 8:30～14:00

ただし、形成外科、産婦人科、神経内科、整形外科、精神科、リハビリテーション科の6科および結核(疑いも含む)については「11時までの受付」となっています。

- ・休診日 土・日・祝日・年末年始

アクセス

- ・都営地下鉄 大江戸線「若松河田駅」より徒歩5分
- ・東京メトロ 東西線「早稲田駅」2番出口より徒歩15分
- ・JR大久保駅又は新大久保駅より都営バス「新橋」行 国立国際医療研究センター前 下車
- ・新宿駅西口より都営バス「医療センター経由女子医大」行 国立国際医療研究センター前 下車



独立行政法人

国立国際医療研究センター病院

TEL 03-3202-7181 FAX 03-3207-1038 ホームページ <http://www.ncgm.go.jp/>

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

